

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成 28 年度 第 2 回 幹事会

平成 29 年 3 月 22 日 14 時 ~
糸魚川市民会館 3 階会議室

- 1 開会

- 2 報告
事業の実施状況について 資料1

- 3 審議事項
平成 29 年度事業計画（案）について 資料2
平成 29 年度収入支出予算（案）について 資料3

- 4 その他
今後の予定について
5/16（火）16：00～ 総会

平成 28 年度 事業報告

平成 28 年 4 月 ~ 29 年 3 月

平成 28 年度の取組

(1) ビジット・ジャパン地方連携事業

- ・ 外国人旅行者の訪日促進を図る観光庁による戦略的プロモーション事業。地域の提案を国が採択し、国と地域で連携して実施するものであり、サイクルをテーマとした台湾からの誘客を図ることを目的に実施。詳細は別紙。

(2) AGT モニターツアーの実施

- ・ 北陸新幹線の開業に伴い、関西方面からの誘客促進を図るため、旅行エージェントを招いたモニターツアーを実施。鉄道と絡めた新しい旅を提案した。

【 目 的 】) 北陸新幹線に開業に伴い所要時間が大幅に短縮された関西圏からの誘客促進

) 日本海 北アルプスエリア間での観光流動の創出

) 北陸新幹線系魚川駅の利用促進

【 実 施 日 】 9月7日(水)~8日(木) 1泊2日

【 ツアー名称 】 えちごトキめきリゾート「雪月花」と大糸線貸切乗車
北アルプス日本海新しい旅

【 参 加 者 】 関西方面旅行会社等(主に商品造成担当者)6社10名

【 行 程 】 (1日目)

大阪駅発 = <上越妙高駅> = 雪月花貸切乗車(上越妙高駅
能生駅) = マリンドリーム能生 = 能生漁港(昼セリ見学) =
= 親不知 = 笹倉温泉龍雲荘泊

(2日目)

大糸線貸切乗車(糸魚川駅 南小谷駅) = 千国の庄史料館 =
大町山岳博物館 = アルプス搗精工場 = 八方北尾根高原 =
<糸魚川駅> = 大阪駅



(3) 観光キャンペーンの実施

- ・ 関東方面からの誘客促進と認知度の向上、また連携会議の連帯意識の向上を図るため、関東圏の大規模商業施設にて合同による観光キャンペーンを実施。

日時 10月15日(土) 12:00~18:00
10月16日(日) 10:00~16:00
名称 北アルプス日本海観光物産展
会場 イオンレイクタウン kaze モール
(埼玉県越谷市レイクタウン 3-1-1)

内容 観光展
・ 大型パネル、ポスターの展示
・ 観光パンフレット配布
・ ヒスイ原石、黒部ダム紙人形の展示
・ 観光大使・キャラクター・武将隊によるパフォーマンス及び撮影会
・ 市町村及び観光関係者による PR ステージ
・ 市町村による体験プログラム(ヒスイ探し体験、缶バッジ制作体験、兜・陣羽織着用体験)
・ 特産品が当たるじゃんけん大会
物産展
・ お米、海産物加工品、サイダーの販売
宣伝 イベント前日にテレビ埼玉の夕方の情報番組で宣伝告知
イオンレイクタウンのホームページ、チラシへの掲載
連携会議ホームページによる情報発信



(4) 駅レンタカー乗捨無料事業

- ・ 広域エリアでの周遊を促すため、通常 4,320 円かかる乗捨て利用料金の全額を補助することで観光流動を創出。今年度は、JR 西日本の協力を得てエージェント商品としても販売。

【期間】 4月1日~9月30日(エージェント商品については11月30日まで)

- 【内容】 糸魚川営業所を発着地点とする、乗捨て料金が4,320円の区間の利用における乗捨て料金の全額補助。
- 【対象営業所】 糸魚川営業所、上越妙高営業所、飯山営業所、長野営業所、信濃大町営業所、松本営業所、黒部宇奈月温泉営業所、富山営業所、新高岡営業所
- 【周知宣伝】 各市町村でのリンクバナー設置、ジェイアール東日本レンタリース株式会社、JR西日本レンタカー&リース株式会社のホームページに掲載、北陸新幹線各駅にチラシ、ポスターの掲出
- 【実績】 22件（平成27年度実績10件）
- 【その他】 利用者へは抽選で地域の特産品をプレゼント



(5) 冬季シャトルバス運行事業

- ・ 冬季、白馬パレーに滞在する外国人観光客の移動の足として、白馬 - 糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図る。

【事業概要】

運行スケジュール（期間中の毎週水～金曜日 全12回運行）

平成29年1月11日（水）～2月2日（木）

1月5日（木）はオープニングとして実施

運行時間

白馬東急ホテル(17:00) == 八方インフォメーションセンター(17:10) == 白馬山麓ツアーズ(17:15) == 南小谷駅(17:35) == 糸魚川駅(18:30～21:30) == 南小谷駅(22:25) == 白馬山麓ツアーズ(22:35) == 八方インフォメーションセンター(22:40) == 白馬東急ホテル(22:50) マイクロバス27人乗り(基本)

利用料金

片道500円（往復1,000円）

広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載、「エッセンシャルガイド」掲出

運行実績

利用者 121 名（日本人客 101 名・外国人客 20 名）

平成 27 年度実績 利用者 100 名（日本人客 44 名・外国人客 56 名）

（ 6 ）北陸新幹線糸魚川駅利用促進戦略会議

- ・北陸新幹線糸魚川駅を利用した周辺市町村への広域的誘客を図るため、誘導方法やそれに関する商品開発を検討する。
- ・昨年度開催の「北陸新幹線糸魚川駅利用促進戦略会議」（構成：西日本旅客鉄道株式会社金沢支社、新潟県、長野県、6 市町村）で上がった課題から、北アルプス方面へのシャトルバスを運行し、JR 西日本の「JR Snow Resort 2016-2017」商品として提供。



「JR 糸魚川駅 北アルプスエリア連絡バス」

【事業内容】Snow Resort 商品として、1 日 1 便（往復）
糸魚川駅 北アルプスエリア間の移動手段
を提供（事前申込制）。

行き
大阪発 7:40 (サンダーバード 5 号)
金沢発 10:56 (はくたか 560 号)
糸魚川着 11:45

帰り
糸魚川発 17:29 (はくたか 569 号)
金沢発 18:42 (サンダーバード 46 号)
大阪着 21:22

【運行カレンダー（3 月）】

2017 3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
行(糸魚川-大町)																															
帰(大町-糸魚川)																															

【運行形態】 貸切バス（大型バス定員 42 名）

【運行日】 平成 28 年 12 月 16 日（金）～平成 29 年 3 月 27 日（月）

【料金】 旅行会社が販売するツアー代に含む（エージェンツ負担：片道
1 人 1,000 円）

【利用実績】 名

【運行ルート】

停留所の名称 (北陸新幹線 糸魚川駅着発時刻)		行き(着時刻) はくたか560号(11:45)	帰り(発時刻) はくたか569号(17:29)
1	JR糸魚川駅	12:00	17:00
		15	15
2	JR根知駅	12:15	16:45
		60	60
3	白馬コルチナススキー場ホテルグリーンプラザ白馬	13:15	15:45
		10	10
4	白馬乗鞍温泉スキー場 里見	13:25	15:35
		5	5
5	白馬乗鞍温泉スキー場 白馬アルプスホテル	13:30	15:30
		10	10
6	榑池高原スキー場 総合センター前	13:40	15:20
		5	5
7	落倉 風切地藏前	13:45	15:15
		5	5
8	岩岳スキー場 ゴンドラ前	13:50	15:10
		5	5
9	八方尾根スキー場 八方インフォメーションセンター	13:55	15:05
		15	15
10	Hakuba47 ウィンタースポーツパーク	14:10	14:50
		10	10
11	白馬五竜スキー場 白馬サンパレーホテル横	14:20	14:40
		5	5
12	白馬五竜スキー場 エスカルプラザ	14:25	14:35
		10	10
13	白馬さのさかスキー場 観光協会横	14:35	14:25
		40	40
14	大町温泉郷ドライブインくろべ路	15:15	13:45

(7) 鉄道魅力発信事業

- ・大系線への関心を高めてもらうため、乗車を促すオリジナルグッズを制作、配布することで利用促進と交流人口の拡大を図る。

「懐かしのキハ限定 52 限定ストラッププレゼントキャンペーン」

JR大系線(糸魚川駅～南小谷駅間)に乗車し、指定のスタンプを集めた方を対象にキハ52 フィギュアストラップをプレゼント。

期間 7月16日(土)～10月31日(月)

要件 専用スタンプが押された台紙と糸魚川駅～南小谷駅間の効な乗車券の提示でストラップと交換。

数量 1,000個(先着順。8月16日に全個配布終了)

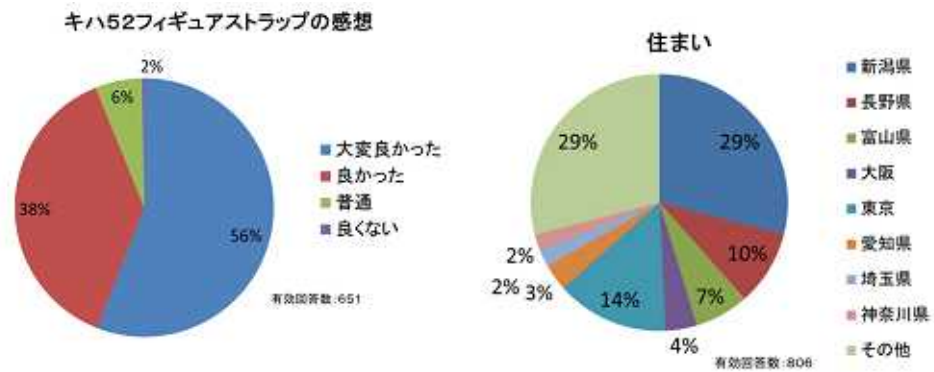
スタンプ設置場所 糸魚川駅大系線改札口・南小谷駅改札口



【アンケートの意見(抜粋)】 大系線に乗って良かったところ

- 旅情として最高の路線
- 車では見られない風景
- ひなびた駅舎や車両が味わい深い

- 都会では味わえない新鮮な旅
- 勾配をゆっくり力強く走るところに感動



(8) その他

観光 PR 動画の再編集

- ・ 平成 27 年度によしもと芸人を活用して制作した You Tube 用動画を、短編として再編集。

**北アルプス日本海広域観光連携会議
平成 29 年度事業計画（案）**

(単位：円)

区分	事業名		事業費
広域観光PR	広告宣伝	広域マップ作成	1,000
	誘客宣伝	広域旅行商品の販売促進（継続）	900,000
		訪日プロモーション地方連携事業（継続）	3,700,000
	HP管理	ホームページ運営管理（継続）	200,000
			4,801,000
二次交通	二次交通	冬季シャトルバス運行事業（継続）	400,000
		鉄道魅力発信事業（継続）	974,000
		カーゴトラック&トレイン（新規）	800,000
		スノーリゾートシャトルバス（継続）	500,000
			2,674,000
広域観光PR	※糸魚川地域振興局直接執行分	旅行エージェント招へい事業（継続）	900,000
		鉄道魅力発信事業（継続）	400,000
			1,300,000

誘客宣伝

広域旅行商品の販売促進（継続）

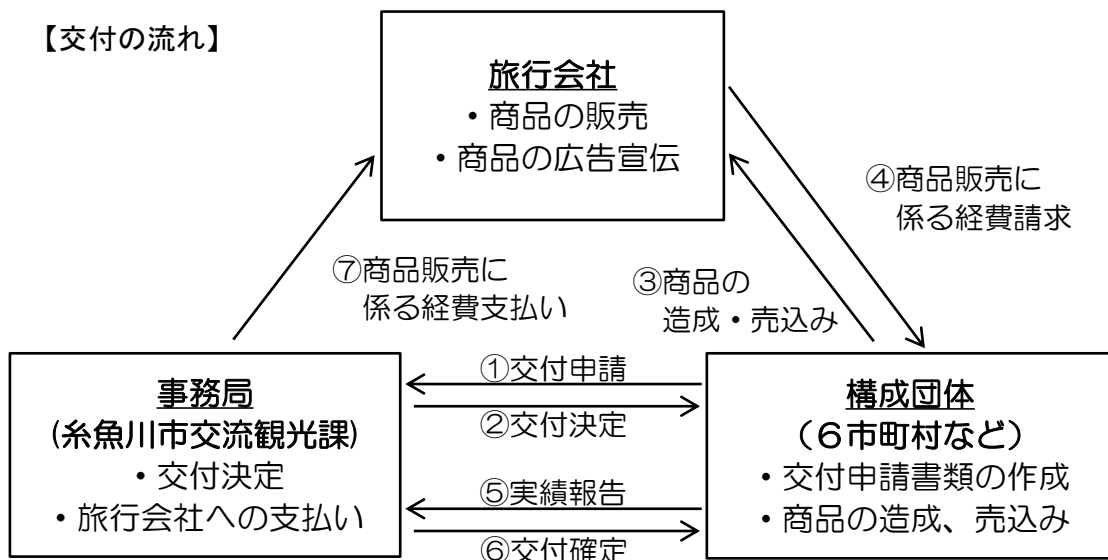
1 趣旨

広域旅行商品の造成及び販売を通じて当エリアへの誘客拡大並びに認知度向上を図る。

2 事業計画（案）

(1) 北陸新幹線糸魚川駅を利用した広域旅行商品の企画造成、または販売に係る費用を負担する。連携会議構成団体が自ら企画するツアー商品のほか、旅行会社が送客を促すための支援としても利用可。
例：広告協賛金、ツアー代金への充当、バス代補助等

(2) 2市町村以上を跨るコース設定を条件に広域エリアでの周遊を図る。



3 目標

認知度向上
誘客拡大

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	商品開発・売込											

5 事業費（概算）

900,000 円 （150,000円×6市町村）

誘客宣伝

訪日プロモーション地方連携事業（継続） （旧ビジット・ジャパン地方連携事業）

1 趣旨

平成28年度に実施した当事業により、各市町村でサイクルスポーツへの関心が高まり、環境整備へ向け動き出した。ターゲットである台湾からの照会も入ってきており、プロモーションを継続することで認知度の向上と誘客拡大を図る。

2 事業計画（案）

(1) 旅行会社招請（平成29年4月・6月）

サイクルツアー商品を造成している旅行社をエリア毎の見所の時期に招請し、今後のツアー商品造成に繋げる。5社5名招請予定。

◇日本海エリア 4月・・・桜、チューリップ、カニ、酒（ワイン含む）

◇アルプスエリア 6月・・・残雪、初夏、山岳観光

【行程案】 各エリア2泊3日

- 4月 富山きときと空港in⇒舟川の桜並木とチューリップ⇒朝日町泊（以上、朝日町）⇒玉翠園・谷村美術館⇒一印かまぼこ店⇒久比岐自転車道⇒マリンドリーム能生（以上、糸魚川市）⇒岩の原ワイナリー⇒上越市泊⇒高田城百万人観桜会⇒朝市見学（以上、上越市）⇒富山きときと空港out
- 6月 富山きときと空港in⇒拇池高原⇒ヒルクライムコース（以上、小谷村）⇒白馬八方・五竜白馬の小径⇒白馬村泊（以上、白馬村）⇒黒部ダム⇒木崎湖・青木湖（以上、大町市）⇒糸魚川市泊⇒富山きときと空港out

(2) 旅行博出展及びセールスコール（平成29年5月）

5月に開催される台北国際観光博覧会（TTE）に出展し、エンドユーザーに直接訴えかける。また訪台中、旅行会社やサイクルクラブ（ショップ）を訪問し、認知度向上と誘客支援に結び付ける。

◇台北国際観光博覧会 2017年5月5日～8日開催

◇台湾主要旅行会社 台北10社

◇サイクルショップ 台北10社

(3) メディア招請（平成29年9月・10月）

パワーブロガーでもあるサイクリストをエリア内で実施されるサイクルフェスタに招請。体験談をSNS等を通じて発信してもらう。

◇北アルプス山麓グランfond（白馬村：9月10日開催予定）

◇グランfond糸魚川（糸魚川市：10月8日開催予定）

◇各大会5名 3泊4日

(4) 印刷物・映像制作

- ・サイクルショップ及び旅行会社掲出用ポスターの制作
- ・You Tube用動画の制作（シーサイド、マウンテンサイドの2種類）

3 目標

エリアの認知度向上
 インバウンド受入環境整備
 新たな観光ルートの構築

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旅行会社招請	○		○									
旅行博出展・セールスコール		○										
メディア招請						○	○					
印刷物・映像制作	○			○			○					

5 事業費（概算）

3,700,000 円 （国の負担決定額2,680,000円）

内 訳 （ 単 位 ： 千 円）	旅行会社招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	地方：航空券、国内移動費、通訳費、宿泊費等	0	1,200	1,200
	旅行博出展・セールスコール	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：出展費、通訳費、現地移動費 地方：宿泊費、航空券	1,300	960	2,260
	メディア招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：現地移動費、通訳費 地方：宿泊費、航空券	980	1,212	2,192
	印刷物・映像制作	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：動画制作費 地方：ポスター制作費、翻訳費	400	260	660
	計	2,680	3,632	6,312

二次交通

冬季シャトルバス運行事業（継続）

1 趣旨

冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客に、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

2 事業計画（案）

(1) 実施から3年目（H27年度～）となるシーフードシャトルバスの継続実施。継続することで認知度向上を図り、利用客へ日本海まで近いことを心理的に意識づける。

※平成27年度利用実績 100名（日本人客44名・外国人客56名）

※平成28年度利用実績 121名（日本人客101名・外国人客20名）

【H28年度の行程】

白馬東急ホテル(17:00) == 八方インフォメーションセンター(17:10) == 白馬山麓ツアーズ(17:15) == 南小谷駅(17:35) == 糸魚川駅(18:30~21:30) == 南小谷駅(22:25) == 白馬山麓ツアーズ(22:35) == 八方インフォメーションセンター(22:40) == 白馬東急ホテル(22:50) ※マイクロバス27人乗り(基本) 糸魚川での滞在は3時間

(2) 事業運営は糸魚川シーフードシャトルバス事業実行委員会（糸魚川青年会議所内）。これまでの振り返りを行うなかで、より実績が上がるよう取組を強化する。



【課題】

- ・ 運行時間
- ・ 宣伝方法
- ・ 利用率向上の取組

3 目標

新たな観光ルートの構築
交流人口の拡大

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							企画・調整					
										運行		

5 事業費（概算）

400,000 円

二次交通

鉄道魅力発信事業（継続）

1 趣旨

在来線の魅力をアピールすることで来訪意欲を創出する。

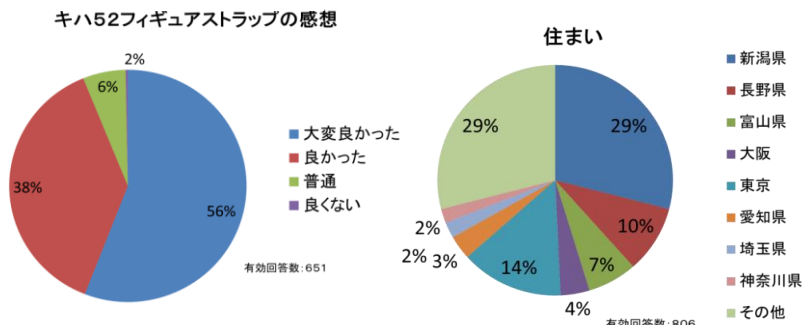
2 事業計画（案）

(1) 鉄道限定グッズの配布・キャンペーンの実施

- ・ H28年度に実施した同企画を継続。H29年度は、南小谷～信濃大町間の利用者増を図る取組を行う。
- ・ 大糸線の主要4駅（信濃大町駅、白馬駅、南小谷駅、糸魚川駅）にスタンプ台を設置。
- ・ 4駅のうち3駅分のスタンプを集めて限定ストラップと交換。
- ・ ストラップに付属する駅名プレートは9種用意。
(糸魚川・南小谷・千国・白馬・神城・信濃大町・安曇追分・豊科・松本)

H29年度実施（案）
「懐かしのキハ52限定ストラッププレゼントキャンペーン第二弾」
 ①期間:平成29年7月15日(土)～10月31日(火) ②個数:2,000個(各駅500個)
 ③内容:スタンプ押印済台紙と有効な乗車券の提示でストラップと交換。

●H28年度実施データ



(2) 情報発信

- ・ 自治体広報、ホームページ掲載
- ・ 各駅にポスター掲出



3 目標

認知度向上・来訪意欲の創出

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		ストラップ製作										
		宣伝		キャンペーン実施								

5 事業費（概算）

1,374,000 円（内、糸魚川地域振興局400,000円負担）

<内訳>

- ・ フィギュアストラップ製作 1,100,000円
- ・ ロイヤリティ 10,000円
- ・ チラシ・ポスター 200,000円
- ・ 大糸線沿線見所チラシ 64,000円

二次交通

カーゴトラック&トレイン（新規）

1 趣旨

自転車での移動に危険が伴う糸魚川～小谷間を、自転車を貨物トラック便を利用し移動させることでサイクリストが周遊できる環境整備を図り、日本海エリア・北アルプスエリアの相互移動及び大糸線の利用促進を図る。



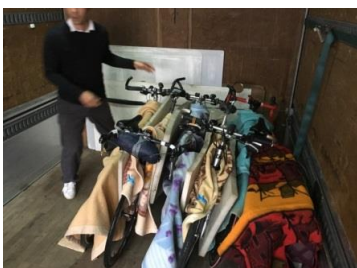
2 事業計画（案）

(1) 実施時期

9月2日（土）～10月29日（日）までの土日祝日（全20日間）

(2) 実施方法

- ・運輸業者が糸魚川～南小谷間において、朝1往復、夕1往復のカーゴ便を設定し、自転車を目的地まで運送。お客さんは自転車をカーゴ便に預けた後、大糸線に乗車し目的地で自転車を受け取る。事前予約制。



【大糸線運行スケジュール】

大町・白馬												
南小谷						9:52	10:04			16:17	16:24	
糸魚川						8:52	11:00			15:16		17:21
直江津												

(3) 検討事項

- ・本来であれば旅行商品のパッケージとして販売されるのが望ましい。
- ・そうでない場合、事業を請け負う事業者の選定が課題。予約受付→運行手配→積込・運行→実績報告といった一連の業務管理と乗車切符、カーゴトラック便料金の收受業務が発生。

(4) 情報発信

- ・サイクル雑誌等に本取組を含めたサイクル環境を紹介
- ・サイクル団体等を招致→SNS等で情報の拡散

(5) その他

- ・社会実験的な位置づけ。実施体制の構築を含め、さらなる調整が必要。

3 目標

交流人口の拡大・大糸線の利用促進

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		協議・調整				実施						

5 事業費（概算）

800,000 円

<内訳>

- ・情報発信料（雑誌掲載等） 400,000円
- ・運行支援 400,000円

二次交通

スノーリゾートシャトルバスの運行（継続）

1 趣旨

関西方面からの誘客強化策として、糸魚川駅から北アルプスエリアへのシャトルバスを運行し、JR西日本及び関西方面エージェントからの送客・広報展開支援を受けることで、交流人口の拡大と糸魚川駅の利用促進を図る。

2 事業計画（案）

昨年度開催の「北陸新幹線糸魚川駅利用促進戦略会議」（構成：西日本旅客鉄道株式会社金沢支社、新潟県、長野県、6市町村）であがった課題 ⇒ ”新幹線駅から観光地へのアクセス強化・旅行会社が商品造成しやすい環境整備” の事業化。平成29年度継続実施。

(1) 運行内容

- ・運行形態 貸切バス
- ・料金 旅行会社が販売するツアー代に含む（専用バウチャー券を発行）。
- ・車両 大型バス（定員42名） ※予約状況に応じてバスサイズの変更あり
- ・運行日 12月中旬～3月末までの間の毎週金曜～月曜日

(2) 実施方法

- ⇒ツアーを販売する旅行会社が白馬山麓ツアーズに予約状況を報告
- ⇒白馬山麓ツアーズがバス運行会社へ運行を手配
- ⇒バス運行会社が糸魚川駅－北アルプスエリア間を1日1便（往路・復路）運行

3 目標

旅行商品を造成しやすいアクセス環境の整備

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			協議・調整										
									シャトルバスの運行				

5 事業費（概算）

500,000 円

HP管理

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 50,000円
- ・情報更新料 1,200円/1h × 120時間 = 144,000円
- ・その他関連作業 6,000円/年

誘客宣伝

旅行エージェント招へい事業（継続）

1 趣旨

北陸新幹線の開業に伴い、関西圏からの誘客促進のため、旅行商品を企画する旅行エージェントを招いた現地視察会を行い、旅行商品造成による観光客の増加を目指す。

2 事業計画（案）

●事業の必要性

- ・北陸新幹線開業に伴い、関西圏から糸魚川への時間短縮効果は効果は大きなものとなっている（大阪→糸魚川 最速3時間41分）。
- ・北陸新幹線開業により、糸魚川駅は関西・北陸エリアから北アルプスエリアへの玄関口の役割を担っている。
- ・糸魚川駅の1日当たりの平均利用者は約400人であるのに対し、北陸新幹線沿線駅である新高岡駅は1,500人、黒部宇奈月温泉駅は800人、上越妙高駅は4,000人となっており、利用者増の対策が課題となっている。



●事業内容

- ・関西の旅行エージェント10～15社程度を招へいし、1泊2日の現地視察会を実施する。
- ・エリアの観光素材を紹介することにより、北アルプス日本海エリアを含む旅行商品造成を目指す。

※新潟県大阪観光センターの協力を得て実施

【行程案】

◇1日目 大阪駅7:40発→金沢駅10:25着/10:56発→糸魚川駅11:46着→（昼食、視察、宿泊）

◇2日目 （終日視察）→糸魚川駅17:33発→金沢駅18:24着/18:42発→大阪駅21:23着



3 目標

認知度の向上、誘客拡大

4 スケジュール

2017年（平成29年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	企画・募集											
				視察会実施								
					検証・次年度以降の商品造成							

5 事業費（概算）

900,000 円 ※糸魚川地域振興局による直接支出

平成29年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	H29予算額	H28予算額	比較増減	説 明
	6,289,000	7,689,000	-1,400,000	
1.負担金	4,000,000	5,000,000	-1,000,000	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
	0	400,000	-400,000	新潟県
2.特別負担金	0	1,100,000	-1,100,000	新潟県
3.補助金	0	0	0	
4.雑収入	150,347	200,000	-49,653	総会交流会費、預金利息
5.繰越金	1,850,653	3,061,355	-1,210,702	前年度繰越金(見込)
計	8,290,000	12,050,355	-3,760,355	

【支出の部】

科 目	H29予算額	H28予算額	比較増減	説 明
1.事業費	7,475,000	11,284,000	-3,809,000	
広告宣伝	1,000	1,000	0	広域マップ増刷
広域旅行商品の販売促進	900,000	1,200,000	-300,000	150千円×6団体
訪日プロモーション地方連携事業	3,700,000	4,300,000	-600,000	旅行社招請、セールスコール、旅行博出展等
関西AGTモニターツアー	0	1,100,000	-1,100,000	
観光キャンペーン	0	570,000	-570,000	
駅レンタカー乗捨無料事業	0	906,000	-906,000	
冬季シャトルバス運行事業	400,000	500,000	-100,000	シーフードシャトルバス
鉄道魅力発信事業	974,000	1,507,000	-533,000	キハ52限定ストラップ第2弾
カーゴトラック&トレイン	800,000	0	800,000	大系線60周年事業 JR西大系線提案事業
スノーリゾートシャトルバス	500,000	1,000,000	-500,000	糸魚川-北アルプス連絡バス
ホームページ運営管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2.連携会議運営費	415,000	666,355	-251,355	
会議費	200,000	200,000	0	総会、交流会等
事務委託費	200,000	450,000	-250,000	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	16,355	-1,355	消耗品、事務通信費等
3.予備費	400,000	100,000	300,000	
予備費	400,000	100,000	300,000	
計	8,290,000	12,050,355	-3,760,355	

【その他】

科 目	H29予算額	H28予算額	比較増減	説 明
1.事業費	1,300,000	0	1,300,000	糸魚川地域振興局直接執行
関西AGTモニターツアー	900,000	0	900,000	
鉄道魅力発信事業	400,000	0	400,000	
計	1,300,000	0	1,300,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。